

# 「地域の底力」実践プロジェクトについて

地域の特色や資源(※)を活用し、地域が課題解決や活性化に向けて主体的に取り組む活動を市が共に考え、実践に必要な資金の支援をすることで、地域力の向上および地域の活性化を図る事業です。

(※)人材、歴史、文化、伝統、自然、教育機関との連携 等

## ▼取組案の応募

随時相談受付！

- ① 地域の課題や活性化をテーマに  
連合町内会等が中心となって、  
関係団体の皆さんと話し合いを  
行います。
- ② 取組案を作成し、市役所あてに  
応募します。



応募を受け、市では採点評価を実施し、採択の可否を決定した後、その結果を連合町内会長宛てに通知いたします。

## ▼結集会議の開催

市長も参加！

地域の皆様、関係団体などが一堂に会し、プロジェクトの目的や方向性などを共有し、地域を挙げて取組を実践するための合意形成を図ります。

※令和6年度から、市長との公民館サロンで話し合われたテーマに関連するプロジェクトを実施する場合、結集会議の開催を省略可。

## ▼プロジェクト会議で取組内容を検討

- ① 連合町内会等を中心に、地域関係団体や連携団体、地域担当職員などをメンバーとする「プロジェクトチーム」を結成します。
- ② プロジェクトチームが会議開催を主導し、具体的な取組内容を話し合うほか、スケジュールや役割分担などを順次決めます。

## ▼プロジェクトの実践

補助金交付(上限50万円、必要経費の80%)

結集会議やプロジェクト会議で検討し、決定した取組を実践します。

## ▼ふりかえり

継続実施に向けて振り返りを行い、事例紹介に向けた準備を行います。

# 鮫

## 「鮫町の魅力再発見・ステップアップ作戦」 ～より心豊かに、賑わいと潤いを求めて～

【実施主体】

◆鮫町連合町内会



鮫地域では、「鮫町の魅力再発見・ステップアップ作戦」をテーマに、青少年、壮年、老年の世代間交流を図りつつ、次の取組を実施することで鮫町の魅力を発信した。

- ・歴史・伝統文化を学ぶ・知る「講演会」
- ・名所・旧跡を探訪する「探訪ウォーク」
- ・地域の歴史・名所旧跡・伝統文化の「オリジナルマップ・リーフレット」の作成 等

# 長者

## ららら 長者良々良会スタートアップ戦略

【実施主体】

◆長者良々良会



長者地区連合町内会では、男女共同参画社会の推進と地域活性化を図るため、女性を中心とした組織である「長者良々良会」を令和5年11月に立ち上げた。

昨年8月には、「長者良々良会」が主体となり「良いところ長者」を目指し、世代を超えて共に楽しむ「長者ららら夏祭り」を開催。長者音頭や囃南ニコニコ音頭、亀子焼により、参加者が地域の文化に触れる機会を作るとともに、子ども食堂や子育てサロンと連携し、食事や健康コーナー、様々な遊び・ゲームコーナーを設け、世代間交流を図った。

# 白銀

## しろがねニュースポーツカップ2024

【実施主体】

◆白銀振興会



白銀地域では、地域の各種団体及び多世代の交流と、多文化共生の推進を図るため、年齢や性別、国籍にとらわれず、地域住民や外国人がみんなで楽しめる「しろがねニュースポーツカップ2024」を開催。ニュースポーツをきっかけに、地域住民の交流が生まれ、地域活動における新たな人材が発掘されている。

## 町畑地区：『誰もが安全に安心して暮らせる優しい地域』であるために



### 取り組みたいこと

- ★町内会の制度を見直して会費があまり負担とならないように減額するなど、町内会が住民に寄り添う姿勢と在り方を示す。
- ★独自の加入勧誘チラシを作成し、活用していきたい。
- ★「ふるさと祭り」を更に充実させる祭り用品やゲーム等と、子どもや高齢者が共に楽しめる室内競技やゲーム用品等を揃えて地域住民の交流の機会を増やしたい。

### 目指す姿

- ★町内会の在り方を考える中、誰もが安全に安心して暮らせる地域であるための活動を地域住民が自分のこととして考え、共に取り組むのが町内会としての本来の姿ではないか。
- ★全ての住民が加入する町内会にして『誰もが安全に安心して暮らせる優しい地域』を目指したい。

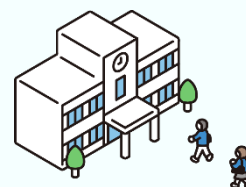
## 島守地区：「のごすべあ、すまもり弁」



### 取り組みたいこと

「万年日めくり すまもり弁カレンダー」の制作

- ★数ある中から選ばれた31種の島守弁を掲載した日めくりカレンダーを作成し、全戸に配布する。
- ★島守弁の文字は小・中学校と連携し、児童に書いてもらう。また、島守の風景や名物の写真31カ所も掲載する。



### 目指す姿

- ★過去に作成した「島守弁ミニ辞典」を活用。日常的に島守弁へ触れられるツールを制作し、暮らしの中で島守弁が無意識に身に付いていく子どもたちを増やしたい。
- ★島守弁を残す継続的活動に厚みを持たせたい。

## 類家地区：「魅力満彩！！LOOK、COME、RUIKE」



### 取り組みたいこと

- ★単位町内会、小中高校の児童・生徒、企業などが集まって協働体制をとり、地域の歴史・文化の掘り起こしを行い、歴史・食などのテーマごとに魅力をまとめ、パンフレットを作成する。
- ★小中学校と連携し、地域の歴史を学習する時間を設け、成果をフィードバックし、子どもたちの地域に対する誇りと愛着を育む。
- ★高校生と連携し、SNSを用いた、類家地区のみどころ、イベントを発信する方法を開発する。
- ★地域の魅力を紹介する看板を現地に掲示することにより、地域内外の人の興味を喚起し、街歩きコンテンツとしても活用する。

### 目指す姿

- ★地区住民や企業、地域の小中高校などの児童・生徒と協働体制を構築しながら、地域の歴史や文化を中心とした魅力を発見し知ってもらうことにより、シビックプライドを醸成する。
- ★協働体制を活用しながら地域の魅力を内外に積極的に発信していくことにより、地域に地域の魅力を浸透させるとともに、地域のネットワークの構築を図り、地域の活性化へのあらたな契機とする。